

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	14番 福本千枝子議員	40分	1 特定検診について	<p>特定検診の受診率向上に努力されているが、平成24年度の65%が可能なのか大変心配している。今後の対応について伺いたい。</p> <p>① 元気こころ館やまごし館で実施された受診率はどうだったのか。</p> <p>② 伊佐市医師会が協力することだが、市内全ての医療機関で実施できるのか、また、どれ位の経費が予想されるのか。このことを市民に周知しているのか。</p> <p>③ 特定検診の理解度はどうなのか。</p> <p>④ 来年度に向けての対応策は。</p>	市長	担当課長
			2 曾木の滝公園整備について	<p>新曾木大橋が10月に完成し供用開始となる。今後の整備計画について具体的に伺いたい。</p> <p>① 新曾木大橋までのルートはどうなるのか、また、県道鶴田大口線の開通はどうなっているのか。</p> <p>② 橋の完成に伴い観光客が増えると予想される。特に昨年のもみじ祭りでは大変迷惑をかけたが、トイレや駐車場の整備はどうなるのか。</p> <p>③ 分水路も完成し岩肌の景観もすばらしい、曾木発電所遺構とともに、どうリンクさせるのか。</p> <p>④ 自然エネルギー学習施設や展望台建設、小水力発電所等、具体的には。</p>	市長	担当課長

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち2枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	21番 植松尚志郎議員	30分	1 少子化対策について	<p>今後、中学校の統合や高校再編、更には農業後継者、商店街の活性化等を考えた場合、少子化対策は重要なことと考えます。</p> <p>国は、子ども手当の支給をしていますが、伊佐市としては、何か対策を考えていないか伺います。</p>	市長	

# 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち3枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	3番 久保 教仁議員	25分	1 農家所得の向上 対策について	① 伊佐米の販路拡大事業・伊佐米ブランド確立計画策定事業の進捗状況と年度内の目標はどのように設定されているか。 ② 同じくこの4月にスタートされたブランド推進協議会の進捗状況と年度内の目標は。 ③ 農家の高齢化が進む中、農村を守り高齢者農家の所得維持の方策として集落営農組織があるが、市としてどのように取り組んでいるか。	市長	

# 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち4枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	1番 緒方 重則議員	20分	1 災害対策の取り組みについて	① 東日本大震災の想定外の事が二重、三重と重なり、多くの生命、財産が失われた。決して他人事ではない。 当市の災害対策について伺いたい。	市長  教育長	

# 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち5枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	12番 左近充 議員	20分	1 県道南浦築地線 道路改良について	① 岩崎橋より川南側の改良は、継続して行われるのか。	市長	担当課長
				② 川南側の用地買収が難しいとのことだったが、どうなのか。 市でも手伝い出来ないか。	市長	担当課長
				③ 当初3年で完成とのことだったが、あと何年くらいかかるか。	市長	担当課長

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち6枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	17番 鶴木 誠 議員	30分	1 自治会運営について	<p>自治会組織の設立加入については、3月議会で質問したが、今回は活動と運営について市長の考えを伺いたい。</p> <p>① 行政が理想とする自治会活動の運営とあり方について</p> <p>② 自治会活動は、集落・地区内の道路の草刈や清掃など美化活動をはじめ、神社等のあるところでは、その維持管理を行ない、伝統的な有形無形の保存、保護などを含め、活動は多岐にわたり、このことが景観あるまちづくりに繋がっている。まさにまちの力であると思うが、市長はこのような活動をどのように受け止め、行政として支援していくのか。</p> <p>③ 現在の自治会運営の経費は、会費と行政からの自治会交付金、農協や共済からの手当、農地・水・環境整備事業の交付金などが主な収入である。 菱刈地区は今年度まで納税報奨金としての収入が、活動の中で大きな財源となっていた。自治会交付金 2900 円／戸が将来的にどうなるのか各自治会で心配しているが。</p>	市長	

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち7枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			2 中学校部活の必要性	<p>① 部活動の必要性、重要性は3月議会で答弁されたとおり重要なことである。山坂達者の教への指導も含め23年度は各中学校の部活動推進の指導はどのようにされたのか。その指導の推進による結果が現れているのか。</p> <p>② 学校間に入部の差があるが、どのように評価しているのか。部活動に参加しない生徒達への指導は何かあるのか。</p> <p>③ この6月の中体連の大会で、3年生は部活動が終わる生徒も多い。その後の指導は。</p>	教 育 長	

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち8枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	19番 古城 恵人議員	40分	1 緑資源公団（独立行政法人緑資源機構）など分収造林における問題点	<p>伊佐市内の多くの民有林でも緑資源公団と分収造林契約が結ばれている。伊佐市所有の市有林も同様な契約がなされているはずだが、分収造林契約では最長80年というものもある。法務局にある全部事項証明書（謄本）では、地上権（木）は緑資源公団9/10、1/10が伊佐森林組合の持分となっており、契約満期までの期間の間伐収入は山林地主には入らず緑資源公団と伊佐森林組合に帰属する。また、間伐時には金になる価値のあるものから優先して伐りだされることが多く山林地主は不利益を蒙るケースが多い。</p> <p>林業振興を図る上からも本市として改善等の意見や対応を求めるべきではないか。本市は実情を把握されているか見解を伺いたい。</p>	市長	
			2 新曾木大橋の完成を観光資源としてどう活かされる考えか。	<p>新曾木大橋の構想からおおよそ20年が経過したが、待ち望まれた完成がこの秋と聞いている。この3月に新幹線が鹿児島から博多、そして青森まで全線開通したが、JR九州や各旅行業者との交渉、連携などさまざまな努力をされてきたはずだが、その進捗と成果について伺いたい。</p>	市長	



## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち9枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	6番 畑中 香子議員	40分	1 防災について	① 東日本大震災を教訓に、防災計画を見直すべきではないか。 ② 毛布や発電機、食料供給など備蓄状況は。	市長	
			2 川内原発増設問題について	① 国民世論は「原発なくす、減らしていく」が過半数を超えているが、川内原発で事故が発生した場合、本市へどのような影響があるか。 ② 国へのエネルギー政策の見直し、県や川内原発への3号機増設中止を求めていくべきではないか。	市長	
			3 住宅リフォーム助成制度について	① 住宅などの耐震化やリフォームを行う場合、助成を行っている自治体が増えてきている。地元建設業の仕事確保にもつながる住宅リフォーム助成制度を実施する考えはないか。 ② 社会資本整備総合交付金を活用する考えはないか。	市長	
			4 国保について	① 東日本大震災の被災者に対して政府は国保法第77条に基づく国保税の条例減免や、第44条の医療費一部負担金の減免を積極的に活用するよう指示を出している。災害がおこった場合、被災者が速やかに医療を受けられるよう法律に基づき要綱などを整備しておく必要があるのではないか。	市長	

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち10枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	20番 岩元 克頼議員	30分	1 乳幼児医療費助成制度の現物給付について	先の定例会において、乳幼児医療費助成制度の現物給付については、これを実施する考えはないとの見解を述べておられるが、多くの自治体でこの制度が実施されている。現在行われている償還払い制度を再度検討し、乳幼児を抱える保護者が一時に多額の出費を余儀なくされている現状を改善することはできないか。	市長	
			2 一般廃棄物処理、浄化槽清掃業の許可について	し尿収集運搬や浄化槽管理清掃などにつき、本市の汚水処理計画では、市内1社において委託、処理をすることとされているが、新たな参入を目指す事業者が行う一般廃棄物処理業（し尿、浄化槽汚泥）、浄化槽清掃業、許可申請については、不許可としている。今日の自由競争社会にあって、このような実情は見直し、市の方針を変更していくことが適切であると考えているが、市長の見解を伺いたい。	市長	

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち11枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	5番 諏訪 信一議員	15分	1 3.11 東日本大震災を受けて	① 被災者の受け入れはどうか、本市の対応は。(家、学校、仕事、お金、その他) ② 防災計画の見直しは(地震、新燃岳、台風、ハザードマップ、危険箇所など) ③ 災害派遣者は延べ何名、特別交付税額は。 ④ 川内原発30キロ圏内9市町連絡会に参加する予定はあるのか。 ⑤ 電力不足が指摘されているが本市の対応は。	市長	
			2 耕作放棄地の解消について	21年12月農地法の改正により、耕作放棄地、遊休地に対しての指導が強化されましたが、今日の現状について伺いたい。 ① 放棄地の筆数及び面積は。 ② 指導の成果は。または、徹底できなかった理由は。 ③ 今後の指導と対策は。	市長	

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち12枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	4番 前田 和文議員	40分	1 原発事故に対する取り組みについて	① 鹿児島県市長会の九州電力への申し入れの経緯と内容について説明されたい。 ② 県と連携し伊佐市としても、原子力防災対策の重点対象地域の見直しなど、原発防災指針の改訂を求めるべきではないか。 ③ 経過・内容を市民にも説明する必要があるのではないか。	市長	担当課長
			2 介護保険認定前の生活支援対策について	病気後や怪我など、介護認定を受けるほどではない、短期間の生活支援が必要な、高齢者に対するサービス提供の制度を作れないか。	市長	担当課長

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち13枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	2番 松元正議員	30分	1 伊佐の再生と創造について	<p>① 東日本大震災の発生にともない、地域の人々の絆あるいはコミュニティの役割がクローズアップされております。市長の考えは。</p> <p>② 地域と市民が豊かになれる地域社会（コミュニティ）づくりと地方自治の役割のあり方について。</p> <p>③ なぜ市民と地方は豊かになれないのか。 いわゆる地域再生の罫とは。 ・伊佐には魅力的なものがいっぱいあるのに生かされていない。 ・広告・宣伝、つまりPRが日本全国、海外にいらっしゃる伊佐出身者、ゆかりの方々に行き届いていない。 ・伊佐にはイベントがいっぱいあるが、それぞれがバラバラでインパクトのあるメインイベントもない。バラバラすぎると効果も薄い。</p> <p>④ 地方をどう立て直す。 地域再生の条件とは。 ・原点に戻る。 ・地元の食材を使ったおいしい料理と木造の風情ある宿（住居）を整え、都市住民に提供する。美しい街づくりとスローフード。 快適さの確保、食泊分離、景観や文化など大切なものを守る。 ・自らのアイデアによる世界水準の町を。</p>	市長	担当課長

# 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち14枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	10番 鶴田 公紀議員	40分	1 東日本大震災への支援状況について	① 救援物資の品名、数量、支援先について ② 支援金万円の支援先について ③ 市職員及び消防職員の派遣先について ④ 派遣の目的、業務内容、派遣期間、選考基準及び人員経費、健康管理等について ⑤ 派遣の成果と実態及び伊佐市民への想定外災害の防災意識や避難マップの整備等について ⑥ 定住促進住宅等の活用は考えられないか	市長	
			2 企業誘致関連について	① 日本精機のその後の対応策はどうなっているか。 ② 伊佐家畜市場跡地や伊佐農林高等学校の第2農場跡地等の有効活用は考慮できないか。	市長	

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち15枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	9番 沖田 義一議員	20分	1 「日本一子育てにやさしいまち」を目指しての施策について	<p>① 「日本一子育てにやさしいまち」を目指している伊佐市としては「出生率」の向上も大切なことと考える。特定不妊治療を受けられる方に不妊治療費の助成金制度の創設ができれば大きな支えになると思うが。</p> <p>② 未婚の方が増える傾向にあるように感じるが、出会いの機会を設定していくことも必要だと考えているが見解を伺いたい。</p> <p>③ 日曜日が定休日と定まっていない保護者は、日曜日が出勤となった場合、子供を預ける施設がなくて困っていると聞いている。市として方策を検討することは考えていないのか。</p>	市長	
			2 福島第1原発の事故が発生した。川内原発が近くにあり市民の関心も高いので伺いたい。	<p>① 福島第一原発の事故が発生し、テレビや新聞等マスコミの報道を受けて原発の安全性が根本から揺らいでいて国民の不安が高まっている。川内原発から40～60キロ圏内に入る伊佐市でも市民の原発に対する不安の声があるが市の見解を伺いたい。</p> <p>② 薩摩川内市長は、川内原発30キロ圏内にある9市町に安全対策等を協議する意見交換会を開くことを明らかにしたが、40～60キロ圏内にある伊佐市としてはもっと範囲を拡大して意見交換ができるように要請することが必要ではないか。 (30キロ圏内に隣接するさつま町 出水市 JA北さつま)</p> <p>③ 毎年避難訓練を行っているが、原発事故を想定した避難訓練は考えていないか。</p>		

## 平成23年第2回定例会一般質問

平成23年6月13日・16日・17日

(16枚のうち16枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
15	13番 柿木原栄一議員	30分	1 各執行機関の職員及び委員の県内外研修会及び総会等の出会について	① 宿泊を伴う県内外総会等の選挙管理委員会、監査委員会、農業委員会、議会事務局等の職員・委員の研修には毎年出会を認めるべきではないか。 ② いろいろな情報が入手できない可能性があるが市民への不利益はないのか。 ③ 職員等の市町村間の意思疎通が少なくなる心配はないか。 ④ 宿泊を伴う県内外の総会・研修等の予算措置をなぜしないのか。また、いつまで続けるのか。	市長	
			2 防災対策について	① 梅雨を迎え豪雨災害の時期であるが、市街地の予防対策（未然防止方策）、応急対策は平成18年7月より万全になってきたか。 ② 伊佐市は川内原発から約40～50キロのところに位置しているが、伊佐市地域防災会議条例の第2条第1項で伊佐市地域防災計画を作成し、これを実施推進することとなっているが、原発の防災計画はどのようになっているのか。 ③ 伊佐市地域防災計画第2条第2項で伊佐市の地域に係る災害が発生した場合において、当該災害に関する情報を収集することとあるが、情報収集のやり方は。 ④ 川内原発30キロ圏内にある9市町で、原発の緊急安全対策などを協議する意見交換会が5月中に開かれたように聞いたが、伊佐市の対応は。 ⑤ 福島第1原発事故で放射能の拡散が距離に関係なく出てきているが年間を通じた気象状況の把握はできているのか。 ⑥ 伊佐市は独自の放射能の測定器を持っていないが、線量計・フィルムバッジの配備の考えはないのか。 ⑦ 放射線に対する危機管理・避難等の応急対策計画をどうしていかれるか。	市長	